

令和3年2月16日

(あて先) 一宮市長

所在地 一宮市栄3丁目1番2号 iービル3階

団体名 市民協働クラブ

代表者名 一宮 太郎

一宮市市民活動サポート補助金企画提案書

一宮市市民活動サポート補助金の交付を受けたく、要綱第2条第2項で規定する市民活動団体の要件を全て満たしているため、第6条の規定により、下記のとおり提出します。

記		令和3年度は、すべての団体が「1回目(補助率5分の4)」になります。
補助金の申請区分 (該当する部門を一つ選択し、○で囲んでください。)	1 スタート支援部門 (1回のみ) (補助率 10分の9) 2 若者支援部門 (___回目) (補助率 10分の10) 3 ステップアップ部門 (1回目) (補助率 5分の4)	
事業の名称	市民活動相談事業	令和3年4月1日～令和4年3月31日の間で記入してください。
実施予定期間	令和3年 4月 1日から 令和4年 3月 31日まで	
事業の分野	⑨市民活動団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助を行う事業	
当該事業における市からの他の補助金等の有無	有 (補助金等の名称: _____) ・ 無	

※1 申請区分は、同一事業で何回目の申請か、回数と補助率を記入してください。

※2 事業の分野は、特定非営利活動促進法(平成10年法律第7号)別表に掲げる①から⑳までの事業のうち、企画内容にもっともあてはまるものを1つ選択してください。

添付書類

- (1) 一宮市市民活動サポート補助金申請に係る団体調書(様式2)
- (2) 一宮市市民活動サポート補助金申請事業に係る計画書(様式3)
- (3) 一宮市市民活動サポート補助金申請事業に係る収支予算書(様式4)
- (4) 団体の規約その他これに類するもの

様式2（第6条第1号関係）

一宮市市民活動サポート補助金申請に係る団体調書

団 体 名	市民協働クラブ		
団体の市内事務所 の所在地	〒 491-0858 一宮市 栄3丁目1番2号 i-ビル3階		一宮市内に事務所がある ことが補助金の条件です。
代 表 者 名	一宮 太郎		
設 立 年 月	平成29年 10月	会員数※ともに活動をする人 (うち、30歳未満)	10人 (3人)
ホームページ	https://138cc.org/		
連絡先（書類送付先 及び担当者） ※この申請に関する 問合せに対応できる方	(書類送付先) 〒 491-8501 一宮市 本町2丁目5-6		市からの連絡等を受け取る 担当者の連絡先を記入して ください。
	(担当者氏名) 一宮 花子		
	電 話	0586-23-8883	
	E-mail	info@138cc.org	
団体の活動目的	(団体の設立目的や活動目的を記入してください。) 一宮市における市民活動に対する市民の理解及び関心を高め、市民活動の 活性化及び促進を目的として、平成29年10月に団体を設立した。 地域の課題を自ら解決していく地域社会を築くことが活動の目的である。		
主な活動内容	(現在の主な活動内容を記入してください。) ・市民活動相談を実施 ・市民活動情報誌を年2回発行		
主な活動実績	(過去の主な活動実績を記入してください。) ・一宮市から市民活動講座を受託(H30) ・市民活動相談会を実施(R1～) ・市民活動情報誌を年2回発行(H30～)		
一宮市市民活動支援セ ンターへの当該団体の 登録の有無について	有 ・ 無		

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4（片面印刷）とする。

一宮市市民活動サポート補助金申請事業に係る計画書

<p>事業の名称</p>	<p>市民活動相談事業</p>	<p>一宮市市民活動サポート補助金企画提案書(様式1)と同じ事業名、期間を記入してください。</p>
<p>事業実施期間</p>	<p>令和3年 4月 1日から 令和4年 3月 31日まで</p>	
<p>事業の内容</p> <p>実現性</p>	<p>(企画した事業の内容を簡潔に記入してください。)</p> <p>毎月1回、市民活動団体から活動全般に関する相談会を実施する。 1回あたり3コマ(1コマ1時間30分:10時~11時30分、13時~14時30分、15時~16時30分)とする。 予約制で実施し、相談料は1コマ500円とする。 事前予約の時点で、相談内容をできる限り聞き取り、最適なアドバイザーを配置するよう調整する。 市民活動団体の自主性を妨げることがないように、団体自らの考える力を引き出すような支援を心がける。</p>	
<p>事業の目的</p> <p>公益性・社会課題性</p>	<p>(なぜ、この事業を行うのか?簡潔に記入してください。)</p> <p>これからの時代は、地域でできることは地域でといった考えがますます求められる。そのため、これらの担い手と期待される市民活動団体を育てることで、課題解決型の地域社会に近づくことを目指している。</p> <p>どのような社会課題を解決することを目的としているのか、正確に伝わるように記入してください。</p> <p>(その背景として、どのように行うのかなど、解決したい地域の社会課題、目的、社会ニーズを記入してください。)</p> <p>市民活動団体は、地域課題解決の担い手と期待されるが、この地域の市民活動団体は、課題解決における各種能力がまだまだ高くないという課題を持っている。 これらの市民活動団体を対象に相談会を実施し課題解決能力が向上することは、今後の地域社会の形成に有益であり、公益性が高いと思われる。</p>	
<p>スケジュール</p> <p>(設定・手法)</p> <p>実現性</p>	<p>(具体的に、何をどのように行うか、①いつ ②どこで ③何を何回 ④誰に(対象者)などを記入してください。)</p> <p>毎月第4金曜日(予定)に、一宮市市民活動支援センターなどで、市民活動実践者や企業等で働く人をプロボノとして迎え、業務の改善、組織力の強化、事業の展開などの支援を必要とする市民活動団体に対し相談会を行う。 また、相談会実施後は3か月に1回程度、相談会において団体の変化を確認し、継続的に支援を行う。</p>	

<p>実施体制 (役割分担・協力先など)</p> <p>実現性</p>	<p>(実施メンバーとして応募団体の人数やその他に協力者、協力団体など、どのような体制で事業を行うかを記入してください。)</p> <p>事前予約は当団体スタッフ1名で対応。</p> <p>相談会当日は、当団体スタッフが1名で運営を行う。また、アドバイザーは、市民活動に精通した外部の市民活動実践者5名と企業等で働くプロボノ3名のうち、事前予約時に聞き取った相談内容に最も適した者で対応する。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;"> <p>スタッフの人数や配置など、事業を行う際の実施体制を具体的に記入してください。</p> </div>
<p>真新しさ ユニークさ</p> <p>独自性・独創性</p>	<p>(企画した事業の中で創意工夫した点やユニークな点を記入してください。)</p> <p>アドバイザーに市民活動実践者だけでなく企業等で働く人をプロボノとして迎えた。そのことにより、多様な視点からのアドバイスが期待できるとともに、今まで市民活動に関わりの無かった人に関心を持ってもらうことができる。</p>
<p>事業実施により期待される効果</p> <p>公益性・実効性</p>	<p>(誰に、どのような効果をもたらし、地域がどう変わることが期待できるのかを記入してください。)</p> <p>市民活動相談会を開催することで、市民活動団体の各種能力が向上すると思われる。また、相談を通して活動内容が深化し、多様化する効果が見込まれ、自主的な行動により地域課題を解決していくという目指す地域社会像に近づくものと思われる。</p>
<p>事業終了後の活動</p> <p>発展性・自立性</p>	<p>(事業終了後、どのように活動を発展させていきたいか、また、補助金だけに頼らず、どのように資金確保を目指すのかを記入してください。)</p> <p>相談を受けた市民活動団体にどのような変化があったかを可能な限り把握し、今後の相談業務に生かす。また、相談員からも相談のニーズの動向を聞き取り、適時、相談体制を見直していく。</p> <p>また、将来的には相談会だけでなく、相談員の伴走型活動支援を行うことによって団体から適正な料金を受け取り、事業収入だけで事業が実施できるようにしていく予定である。</p>

様式4 (第6条第3号関係)

収入

科目	金額(円)
一宮市市民活動サポート補助金	134,000
当該事業における事業収入	24,000
自主財源	16,400
計	174,400

補助金額は、

- ① 補助対象額に補助率を乗じた額
168,400円×4/5=134,720円 と
 - ② 事業費から事業収入を引いた額
174,400円-24,000円=150,400円
- の少ない方の額で、千円未満切り捨てとなります。

相談料 500円×12回×4団体=24,000円

有料で事業を実施する場合は、収入を記入してください。

支出

科目	金額(円)	うち、補助対象額(円)	内訳 ^{※1}
報償費	120,000	120,000	アドバイザー 5,000円×12回×2人=120,000円
旅費			
印刷製本、消耗品費	4,000	4,000	文具費 3,000円 チラシ印刷費 1,000円
食糧費	6,000	0	アドバイザー茶菓子代 500円×12回=6,000円(0円)
通信費、手数料	8,400	8,400	チラシ郵送料 84円×100箇所=8,400円
備品費 ^{※2}			
人件費	36,000	36,000	事務 1,000円×3h×1人×12回=36,000円
使用料、賃借料			
その他			
計	174,400	168,400	

対象経費とならない支出は(0円)と記入してください。

※1 一部が「補助対象額」となる場合は、その該当分のみを()書きで再掲してください。

例) 講師・スタッフ弁当代 @600円×5人=3,000円 (@600円×1人=600円)

※2 備品費を計上する場合は、内訳欄に購入理由も記載してください。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4(片面印刷)とする。